2026 年 11 月 12 日（木）
デジタルグリッド株式会社

島根県出雲市の系統用蓄電所が需給調整市場に参入

蓄電所事業の拡大へ着々 自社保有蓄電所では 3 カ所目

デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介、以下「デジタルグリッド」）は、子会社であるデジタルグリッドアセットマネジメント株式会社（所在：東京都港区、代表取締役：嶋田剛久）が保有する島根県出雲市の系統用蓄電所について、**2026 年 11 月 11 日に需給調整市場に参入**したことをお知らせいたします。系統用蓄電所の需給管理（アグリゲーション）はデジタルグリッドが担います。

デジタルグリッドは 2028 年 7 月までの 3 年で 100 億円規模の投資を進め、グループの事業の柱の１つとする計画です。多様な蓄電池設備への対応力と市場運用の知見を生かして、再生可能エネルギーの普及および電力系統の安定化に貢献してまいります。



【蓄電所の概要】

設置場所：島根県出雲市

名称：出雲古志蓄電所

最大出力：1,997kW

定格容量：8,128kWh

系統用蓄電池について

再エネの導入が急速に進む一方で、特に太陽光発電は天候や時間帯によって出力が大きく変動するという課題があります。このため電力の余剰時に充電し、不足する時に放電することで需給を調整できる「系統用蓄電池」は、電力インフラの中核を担う存在として期待されています。

デジタルグリッドは、他社が保有する系統用蓄電池の運用受託や自社グループ保有の蓄電池運営を通じて**業界トップクラスの運用実績**があります。特に、蓄電池設備やパワーコンディショナーの仕様が多様化する中、蓄電池設備のメーカーを限定することなく対応可能であること等を強みとしています。

デジタルグリッドグループは、自社保有する系統用蓄電所を拡大するとともに需給調整市場への参入を進めており、今回の参入は自社保有の蓄電所としては 3 カ所目[1]となりました。

会社概要

会社名	デジタルグリッド株式会社 東証グロース市場 350A digitalgrid.com	**代表者**	代表取締役社長 CEO 豊田祐介
所在地	東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階	**設立**	2017 年 10 月
資本金	1,242 百万円 2026 年 7 月末時点	**従業員数**	114 名 2026 年 11 月 1 日現在
事業内容	電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営 分散型電源アグリゲーションサービスの提供		
表彰	・アジア太平洋地域の急成長企業ランキング 2026 Energy & utilities 部門 国内 1 位 ・令和 7 年度 気候変動アクション環境大臣表彰		

IR チームからのお知らせ
※IR コンテンツのご案内：
・IR メール配信：適時開示情報をはじめとする IR 関連情報をタイムリーにご提供するメール配信中
・インベスターデータブック：財務データや非財務 KPI などを分かりやすく整理した数値データ集
・よくあるご質問とご回答：Notion にまとめて一覧で開示中（2026 年 9 月 11 日更新）
・株主総会の動画：2026 年 10 月 29 日(木)に開催しました第 10 回 定時株主総会の動画を公開中

[1] 需給調整市場に参入済みの自社保有蓄電所：御殿場高圧蓄電所、大垣市上石津一之瀬蓄電所